

【別表：評価基準】令和8年度 焼津市地域事業者デジタル活用支援業務委託プロポーザル

大分類	中分類		小分類		主な評価の視点
	項目	配点	項目	配点	
基本事項	背景・目的	5	-	5	・焼津市の計画、スマートシティ推進協議会の取組、市内事業者の課題を踏まえ、本業務の目的・意図を理解しているか。
	プロジェクト管理	15	実施体制及び人員	10	・業務責任者、相談対応を行う者、コンサルティング支援を行う者等の役割分担が明確で、業務を確実に実施できる体制となっているか。 ・配置予定者の経験、専門分野、支援実績等は十分か。
			焼津市との連絡・協議体制	5	・定例会・臨時対応等の設計が適切で、事業の立ち上げや実施に支障なく連携できる体制となっているか。 ・緊急連絡時等の対応体制について、焼津市との連絡手段やフローが明確に示されているか。
業務内容	運用方針及び相談対応ルールの整備	15	中立性・公平性の確保	5	・デジタルツール、サービス、支援事業者等に関する情報提供において、特定の事業者、製品又はサービスの利用を前提とせず、相談者が自ら判断できるよう配慮した提案となっているか。
			運用方針及び相談対応ルールの整備	10	・支援範囲、受付・記録方法、リスク対応等の運用ルール案が、現実的かつ実行可能な内容として整理されているか。 ・初期提案として、焼津市と共有・調整を前提とした柔軟な設計となっているか。
	相談窓口の開設・運営	30	相談対応の流れ・実施方法	15	・市内の中小企業及び個人事業主等が相談しやすい窓口として、受付、一次対応、ヒアリング、課題整理、情報提供までの流れが適切に提案されているか。 ・支援機関、補助制度、セミナー等の例示及び情報提供の考え方が具体的に示されているか。 ・開設場所、開設回数、実施日時、相談時間、対面・オンライン対応等が、相談者の利便性等を踏まえた適切な提案となっているか。
			周知・利用促進	15	・市内事業者に情報が届き、実際の相談につながる具体的かつ効果的な周知・利用促進策が示されているか。
	コンサルティング支援の実施	15	-	15	・相談窓口からコンサルティング支援へ移行する考え方が具体的に示されているか。 ・アクションプラン作成支援の内容が、具体的かつ実行可能なものとなっているか。 ・支援対象者数、1社当たりの支援回数、支援方法は適切に示されているか。
	相談記録・支援内容の整理・分析	10	-	10	・蓄積したデータを基に、相談の傾向、事業者の課題、デジタル活用ニーズ等を分析し、今後の施策検討や関係会議での活用につなげる考え方が示されているか。
	独自提案その他	5	-	5	・地域のデジタル活用支援に有効な独自提案等があるか。
経費	業務コストの妥当性	5	-	5	見積書記載金額で採点（最高5点） 配点：5点×（最安提案価格÷提案価格）ただし予算超過は失格、小数点第一位を切り捨てる。
採点合計		100			